



株式会社

ドン・キホーテ

Don Quijote Co.,Ltd.

ひと目でわかる

2008年6月期 中間決算

増収増益で中間期最高実績更新

に10月の長崎屋子会社化により、国内31都道府県220店舗の総合小売グループとなりました。

当中間期は、売上高1,855億円(前期比23%増)、経常利益100億円(同16%増)と、増収増益を継続しました。新規出店は16店舗と中間期過去最多、さら

売上高

1,855
億円

過去最大規模の16店舗の新規出店、また長崎屋の連結子会社化(寄与は1ヵ月分)により、売上高は前中間期比23.3%増、中間期過去最高の1,855億円となり連続増収を達成しました。

営業利益

94
億円

スケールメリットを活かした定番商品の改廃、直接輸入比率拡大などの粗利益率向上策が奏功し、利益体質へと改善が進みました。営業利益は前中間期比23.2%増の94億円となりました。

経常利益

100
億円

経常利益は、負ののれんの貢献もあり、前中間期比16.3%増の100億円と、連続増益で大台を達成しました。

当期純利益

67
億円

中間純利益は、前中間期比3.6%増の67億円となり、連続増益を達成、中間最高益も更新しました。

総資産

2,796
億円

長崎屋の子会社化による商品、土地建物、敷金保証金等計519億円増加などにより、総資産は当中間期で697億円増加し、2,796億円となりました。

純資産

895
億円

純資産は利益の蓄積などで当中間期で71億円増加し、895億円となりました。なお、自己資本比率は31.5%となっています。

EPS

93
円

中間純利益の増加により、1株当たり中間純利益(EPS)も2.6円増加、93円となりました。

ROE

8.1
%

自己資本当期純利益率(ROE)は、8.1%となりました。

お買上客数

ドン・キホーテ店
5,464
万人

当中間期にドン・キホーテ店舗をご利用いただきましたお客さま数は、5,464万人(国内のみ、子会社運営店舗含まず)となりました。

店舗数

224
店

当中間期は、ドン・キホーテで中間期最多となる16店を出店しました。また長崎屋55店舗の取得もあわせ、グループ全体の中間期末店舗数は国内で31都道府県220店舗、米国ハワイ州の4店舗を含めると224店舗となっています。

売場面積

820,076
㎡

長崎屋55店舗の取得もあり、中間期末売場面積は186%増加の820,076㎡となりました。

在庫回転率(個別)

2.2
回

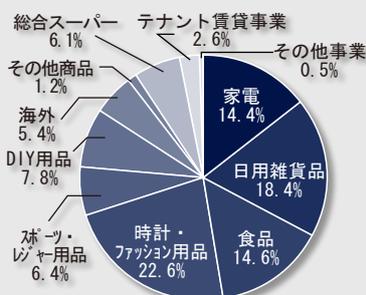
新規出店によって商品在庫高が増加しましたが、ドン・キホーテ既存店の商品在庫高を家電中心に抑制した結果、個別の在庫回転率は2.2回となりました。

商品点数

27,420
万点

当社グループが、お客様の手許にお届けした商品点数は、27,420万点となりました。

商品分類別売上高構成比



株主数

5,732
名

株主数は前期末に比べて735名減少し、5,732人となりました。

株主分類別持株数構成比

